

## 提案趣旨説明書

<作品タイトル>ココロとカラダ整う、二層の森。～シーホーススクエア～

西三河の玄関口、三河安城。当敷地は、新幹線三河安城駅、在来線である JR 三河安城駅に挟まれた場所に位置し、新たに建設予定のシーホースアリーナと共に県外からの来訪者、通勤者の往来が多く、一方でビジネス街と住宅地が混ざり合い、ビジネスパーソンや近隣住民にも楽しんでもらえる場所にする必要があります。

そこで、私たちはここに性格の異なる二層の森をつくることを提案します。一層目は、他県からの来訪者をもてなし、西三河地方の魅力を伝える場、二層目は、市民が日常的に活用でき、心身のケアをする場。二層にわたり植栽を施し、どこにいても自然を感じ、二つの層はスロープで繋がり、散歩感覚で昇り降りができます。

**一層目**は、三河ゲートウェイとしての役割。二層を貫く竹を植え、訪れた人々が短冊を飾れるようにし、天井からは七夕飾りを吊るし、一年中安城七夕祭りを感じられるスペースを設けます。(図1) ちょい飲み横丁では、新幹線を待つ間や仕事終わりの時間を楽しむ事ができます。屋根のある半屋外空間では、緑を感じながら飲食をする事ができ、二層目の床にはガラスの明かりとりを設け、一層目を明るく照らします。(図2) 三河名物店街では、三河地方の魅力ある飲食店を募り、三河名物のフードコートをつくります。老舗店のアンテナショップとしての役割から、新たな三河名物の発掘にも繋げていきます。飲食空間は、天井に小型ダウンライトを設け、星空を演出します。(図3) また、現在建設予定のシーホースアリーナでの試合を遠隔で観戦できる、ライブビューイングスペースを設け、シーホースアリーナとの連携を図ります。試合のない時は、演劇やコンサート、プロジェクションマッピングを行うための場所貸しも行います。(図4) 歩道に面した一角には広場を設け、軽トラ市やマルシェ、ヨガやダンスなどシーンによって多様な使い方ができます。(図5) そして、起業や新規出店など実験的なポップアップが可能なチャレンジショップエリアをつくり、私たちの強みである不動産業の観点から、実店舗への出店に向けたサポートも可能です。(図6)

**二層目**は、健康をテーマにした心身整える場。まちのデザイン部門で提案している、空中歩廊により、シーホースアリーナからアクセスする事ができ、サテライトショップとして、アリーナで行われる試合や展示会などの情報提供や、地元企業の誇れるものづくり技術を紹介する場としても機能させます。そして自社栽培や提携農家による地元農産物の直売所を設け、道の駅運営などに精通する新三商事株式会社との協働によりきめ細やかな運営を行います。メンテナンスエリアでは整体やマッサージなどにより健康をサポートします。建築物は、仮設木造建築をコンクリートスラブに固定する事で時代に応じて変化できるようにしています。空中歩廊でのジョギングやトレーニングによる汗を洗い流し、リラックスするためのシャワーブースや奥三河産杉ヒノキを使ったサウナスペースを設けます。(図7) 賑わいを創出する工夫としてサブスクリプションを導入します。月額すれば、シーホースの試合が見放題、カフェのドリンク飲み放題、モーニング無料、サウナ利用し放題などの様々なサービスを受けられるようにする事で、一社では実現できない楽しさを街として提供し、街を使い倒します。



図 1



図 2



図 3

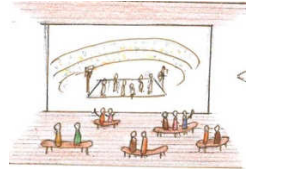


図 4



図 5

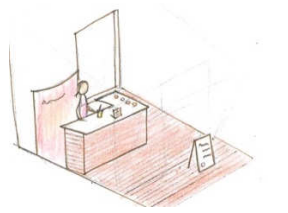


図 6



図 7